

うちゅうせん通信

広報係 2023年10月 21日(土)発行 第22号

☆2023年度下期の例会☆

10月21日 1月15日

11月:無し 2月19日

※12月16日 ※3月19日

毎回土曜日、14時開始

場所は仙台市天文台

(2階・学習室)

※場所:市中心部(サホセン15時予定)

☆ 仙台市天文ボランティア会報 ☆

星空 ◎:好天 △:僅かに観望 ×:不可(中止のものは記載していません)

実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	投影	スタッフ数	天候	主な内容
■ 4.15(土)	例会(第1回)	-	14:00	15:30	-	-	9名	-	5月の観望会の予定他について
☆ 5.3(水)	えぼしリゾート	15名	19:20	20:20	×	有	3名	曇	曇が一面に広がり、ほとんど星の見れない観望会
★ 5.4(木)	えぼしリゾート	49名	19:20	20:20	◎	有	2名	晴	快晴が最後まで続いた、満足度の高い観望会
☆ 5.5(金)	えぼしリゾート	18名	19:10	20:20	×	有	2名	曇	星が見えず仙台空港など、街を見てもらった観望会
■ 5.20(土)	例会(第2回)	-	14:00	15:30	-	-	7名	-	5月のえぼしリゾート観望会の実施状況と6月予定について
★ 5.27(土)	仙台緑化フェア西公園	-	19:00	21:00	△	有	3名	曇	全国都市緑化仙台フェアの共催で実施された観望会1回目
★ 6.3(土)	仙台緑化フェア西公園	-	19:00	21:00	◎	有	3名	晴	観望会2回目、流しこみのため人数は不明。金星が見れた。
★ 6.10(土)	仙台緑化フェア西公園	-	19:00	21:00	◎	有	3名	晴	観望会3回目、前回同様に金星を楽しんでもらえた。
■ 6.17(土)	例会(第3回)	-	14:00	15:30	-	-	8名	-	7月以降の観望会の依頼状況とメンバー決定について
■ 7.15(土)	例会(第4回)	-	14:00	15:30	-	-	8名	-	8月の観望会の予定参加メンバー選定
★ 7.29(土)	エコキャンプみちのく	29名	19:00	20:30	◎	有	4名	晴	みちのく公園キャンプ場で実施された観望会
★ 8.5(土)	えぼしリゾート	29名	19:20	20:20	△	有	2名	曇	薄い曇があり、望遠鏡が活躍できない観望会
★ 8.6(日)	仙台城跡七夕ナイト	40名	19:00	20:30	△	有	4名	曇	武将隊とセットの恒例イベント。曇りで始まり徐々に晴れ
★ 8.10(木)	えぼしリゾート	30名	19:20	20:20	◎	有	2名	晴	曇りで始まり晴れてきた満足度の高い観望会
★ 8.11(金)	えぼしリゾート	19名	19:20	20:20	◎	有	2名	晴	曇天から星が見えだした観望会
★ 8.11(金)	アクティブリゾート宮城	19名	20:00	21:00	◎	有	2名	晴	曇天から星が見えだし唯一屋上に出られた観望会
★ 8.12(土)	えぼしリゾート	29名	19:20	20:20	◎	有	2名	曇	天候に恵まれず曇天バージョンとなった観望会
☆ 8.13(日)	アクティブリゾート宮城	17名	20:00	21:00	×	有	6名	雨	終始曇りに覆われ室内での曇天バージョンだけの観望会
☆ 8.13(日)	えぼしリゾート	17名	19:20	20:20	×	有	2名	雨	終始曇りに覆われ星を見れなかった観望会
☆ 8.14(月)	アクティブリゾート宮城	20名	20:00	21:00	×	有	2名	雨	悪天候で室内だけのイベントとなった最後の観望会
★ 8.18(金)	アスク長町南保育園	16名	19:20	20:10	△	有	2名	曇	曇りの中で、ちょっとだけ星が見られた観望会
■ 8.19(土)	例会(第5回)	-	14:00	15:30	-	-	9名	-	9月の観望会の予定、南三陸合宿の検討について
★ 9.2(土)	えぼしリゾート	20名	19:20	20:30	△	有	2名	曇	ちょっとだけ星が見えたが、その後曇りに覆われた観望会
■ 9.16(土)	例会(第6回)	-	14:00	15:30	-	-	7名	-	10月の観望会の予定、南三陸合宿予定について
★ 9.23(金)	えぼしリゾート	44名	19:20	20:20	◎	有	2名	晴	貴重な好天に恵まれた観望会

☆ 観望会のようす - 令和5年5月 -

☆ えぼしリゾート・観望会【2023年5月3日(水)・報告:西口】

曇りに覆われた中でスタート。挨拶の後、「4.5月の星空」の説明。金星が薄雲を通して見えたので外で見てもらいました。半月のような形で、米粒みたいという方もいました。満月に近く月形がわかるようになり、しばらく望遠鏡で見てもらいました。時々ボツンと星が見えるのですが、1つだけではなかなか何の星かわかりませんでした。曇りが厚くなってきたので一旦中に入ってもらい、永井さんがいろいろ話していました。終了時刻になり照明がついた頃に晴れてきて、北斗七星や双子座が見られました。帰り際に金星と火星を見てもらい、お開きとなりました。

★ えぼしリゾート・観望会【2022年5月4日(木)・報告:西口】

快晴でしたので挨拶、星空解説をして、さっそく外に出てもらいました。いつもならこの辺りから曇ってくるパターンですが、今日はずっと快晴でした。ほぼ満月に近い月、金星、火星、北斗七星、ミザールとアルコル、北極星、春の大曲線、春の大三角、獅子座、双子座、プレセペ。月明かりがあったおかげで、かえて星が見つけやすかったです。シートを持ち込んで、寝転んで見ている人もいました。これだけ見られたら、参加した方の満足度も高かったのではないのでしょうか。寒さも昨日ほどではありませんでした。

☆ えぼしリゾート・観望会【2023年5月5日(金)・報告:小林】

日中から、曇り空っぽかったのですが、山は曇ってました。挨拶して、今月の星空して・・・がいつもの流れですが、8時頃上がってくる人がいる、とのことで1時間調整のため、星座物語「星の仙人」を。その後、外に出てもらい、仙台空港を見ていただきました。そうしたら、花火が上がっているのが見えましたよ！村田で花火大会があったそうで、よく見えました。今月の星空をして、船長のお話を。月のはなし、太陽の大きさ、星座のみえかた、などなど。後半で、親子がきたので、最後にインディアン星座物語をしました。

★ 仙台グリーンフェア関連・星を見る会【2023年5月27日(土)・報告:永井】

三週連続の第1回目のGPV天気予報は18時以降曇りの予報でしたので「曇天バージョン」の準備と、万一の備えで望遠鏡も持参しました。最初は日没前の空高くに薄雲越しに月が見えており、三台の望遠鏡で雲越しの月を見て貰いました。曇りの量は一進一退で、月の見え方は様々では有りましたが、月を見た多くの方が驚きの声を上げてくれました。親子連れの参加者がほとんどで、予想以上に多くの方が参加されている事に驚きです。最後まで鮮明さに今一つ足りない7日月を見てもらいました。曇天バージョンの準備はテントの中になりましたが使わず、終始月を見てもらいました。

★ 仙台グリーンフェア関連・星を見る会【2023年6月3日(土)・報告:近藤・石垣】

台風の影響を心配してましたが、場所が良く風もあまり強くなくゆっくり観ていただきました。望遠鏡では「金星」だけでしたが、流しで観て行くため、多くの皆さんに楽しんでいただけたようです。欠けた金星で、驚きも大きいようで、皆さんとの会話も弾みました。20:00頃からは木々の合間から月がチラチラ見え始めたので場所を移動し最後まで月を見せていました。

☆多 観望会のように 令和5年 続きー

★ 仙台グリーンフェア関連・星を見る会 【2023年6月10日(土)・報告:大石】

うすく見える金星を3台の望遠鏡に入れて観望会を開始しました。3台並んでの観望、思い思いに列を作り「金星」を楽しんでもらいました。「あ！本当に半分に見える」「見れてよかった」「金星なんですね」「わ！ちっちゃい」など感想をいただきました。金星が欠けて見える理由等を説明したりしながら見てもらいましたが、「きれい」とか「見れてよかった」の気持ちが大事だと思いました。

★ エコキャンプみちのく・観望会 【2023年7月29日(土)・報告:西口】

広いキャンプ場の一角、コテージゾーンの広場での実施でした。周囲には木が茂っているものの、見たい天体はしっかり見えました。雲一つなく、辺りも暗かったのですが、月が天の川の中心にドーンとあり、まるで街中にあるような見え方でした。月がなければ天の川が見えたかも。室内でのスタートで、参加者を待って少し遅れて開始。最初に写真を選んでもらい、挨拶の後、今月の星空、オリオンとさそり。望遠鏡ののぞき方。今日見たもの(月、夏の大三角、ベガ、アルタイル、デネブ、アルビレオ、アンタレス、北斗七星、ミザールA,Bとアルコルetc。人工衛星と飛行機も結構飛んでいて、その区別の仕方を説明しているところに、北西からどんどん光度を上げて動いているものをお客さんが発見！確認したところ、何とISSで、これにはお客さんも大喜びでした。星を見たあと、虫取りに出かける親子もいました。

★ えぼし・夏バージョン初日・観望会 【2023年8月5日(土)・報告:永井】

挨拶の後、今日の星空説明、その後外へ出て二手に分かれて星を見ながらの説明。夏の大三角、春の大曲線、北極星、カシオペアetcスピカは西の山の端に沈む直前、さそりはアンタレスは見えるものの下半分は見えず。それより何より月も無い絶好の条件と思いきや、空全体が湿度のため白んでおり天の川は有ると言えは有るかな？といった程度でした。望遠鏡で見る対象は少ないですヨ！と説明はしましたが、反射望遠鏡でミザールとアルコルを見てもらいました。アルビレオのリクエストが有り導入を試みましたが、高過ぎて無理でした(笑)屈折望遠鏡では終始仙台空港の誘導灯・かなりの人気でした。そのうち、終了の時間となり煌々とライトが点灯したところで終了となりました。山は涼しいかな？と期待していましたが、全くの期待はずれの暑さで閉口しました。

★ 仙台城七ツナイト・観望会 【2023年8月6日(日)・報告:西口】

19時にステージが始まりました。横手、岩出山、埼玉の行田市からもそれぞれ武将隊が来ていて、演舞などで盛り上がっていました。肝心の空の方はというと、暗くなっても夏の大三角すら見えない状態。でもそのうちに、部分的にポツポツと星が見え出して、ポインターで説明したり望遠鏡で見てもらったりしました。武将隊の常長様も時々状況を確認めにきて、お客さんにマイクで伝えてくれました。終わりの時間になってようやく夏の大三角が見え出し、七ツナイトらしくなりました。最後の方で晴れてきたので、予定時刻オーバーで終了。

★ えぼしリゾート・観望会 【2023年8月10日(木)・報告:植村】

絶望的な曇天出の開始でしたが、せつくなので、少しでも早く星を見てもらおうと説明を早めに切り上げ、みんなで屋外に出てみると、徐々に視界が良くなり北斗七星と北極星、それにカシオペア座。アークツルズはくっきりと輝き、さそり座もS字型の堂々たる姿を見せています。いて座の南斗六星もはっきり見えるようになりました。天頂付近にはヘルクス座と、大きく見えるへびつかい座。そして夏の大三角の間には天の川。それぞれライトを使って、今度は本物の星空を指し示しながら星についての説明やギリシャ神話のお話し、またちょうど飛び始めたペルセウス座流星群についての解説などを行いました。明るい惑星は無かったものの、流れ星(群流星、散在流星)や飛行機、人工衛星なども結構飛ぶのが見られ、双眼鏡を持ってこられた方にはアルコル・ミザールなどを見ていただいて、楽しいひと時を過ごされたようでした。

★ アクティブリゾート宮城蔵王・観望会 【2023年8月11日(金)・報告:永井】

残念ながらの曇天でしたが徐々に星が見え出し、望遠鏡の設置を終えとお客様がどんどん来られました。ホテル側の挨拶と我々の紹介が有り、その後「今日の星空」説明・外に出てもらう前提で短めでした。屋上は真っ暗ですが、いかに雲がかなり邪魔をしています。それでも夏の大三角が見え隠れしたりアルクツルズ・アンタレス・北斗七星・北極星が見え隠れしていました。その中望遠鏡でアルビレオを見せたり、102mm50Cmの望遠鏡に2インチ40mmのアイピースで、もっぱら天の川流しを楽しんでもらいました。

★ えぼしリゾート・観望会 【2023年8月11日(金)・報告:永井】

曇天で始まりました。挨拶の後、今日の星空、オリオンとサソリ・・・としていると、うすすら切れ間が。外に出させていただきましたが、やはりダメ。室内で、天文クイズ。最前列に座ってくれた中国？のお子さんが、パパの通訳で、楽しんでくれたら・・・星が見えてきたので、クイズをやめ、外で観測しました！天頂から、北の方角にかけて、晴れて、夏の大三角、北斗七星、北極星、カシオペア、サソリなどの星座を楽しみました。流星も飛びましたよ！何より、ダメな天気が一気に晴れたので、皆さん「わー！」と星空を喜んでくださいました！。

☆ アクティブリゾート宮城蔵王・観望会 【2023年8月12日(土)・報告:伊川】

20時過ぎに開始、挨拶の後今日の星空説明、星座の数はいくつある・星の物差し(角度の測り方)・月の呼び方(和名)・月の話等をしました。角度の測り方では腕を伸ばし、握りこぶしや指で「ひとつふたつ」と角度の練習している熱心な参加者が多数いらっしゃいました。その後星座物語「オリオンとサソリ」、最後に「星座はなぜ88なのか」という質問で終わりとなりました。

☆ えぼしリゾート・観望会 【2023年8月13日(日)・報告:西口】

挨拶、自己紹介の後、今日見えるはずだった星空、「くさりにつながれたお姫さま」の後、一度外に出てもらいました。明かりが消えて真っ暗になった瞬間、「おー！！」という今日1番の歓声が上がりました。でもやはり星は見えず。小雨も降り出す始末。室内で星空クイズで楽しみました。今日のお客さんは、やはり天の川や流星群を楽しみにしていた方が多かったようです。リピーターの方や、三脚カメラを用意してきた方も。

☆ アクティブリゾート宮城蔵王・観望会 【2023年8月13日(月)・報告:伊川】

天文クイズでは小さなお子さんが自分で考え、手を挙げ回答している姿がみられました。また、新幹線で太陽まで何年かかる？は正解率は低かったようです。途中から参加される方もおり、写真を選んでから席に着いて頂きました。最後の質問コーナーは、ホテル担当者より「星座の数はいくつあるの」とお子さん2人から「土星について」「宇宙に衛星は何個あるの」という難問までバラエティーに富んだ内容でした。【以降の観望会については次号に掲載します】

◆ 編集後記 ◆

- ◆ 新型コロナウイルスが5類に変更され観望会も通常通り開催できるようになりました。今年は全国的に、猛暑により雲が発達しやすく局地的な大雨など、山岳部は悪天候に見舞われました。このためえぼしリゾートが中心の、うちゅうせんの活動も中止となる場合が例年以上に多かったと感じられます。今年の夏は、地球温暖化ならぬ地球沸騰化だとか!!。来年以降は通常の夏の暑さに戻ってほしいものです。(辺)